

かん きょう なつやす こども きかくてん
 「環境」って、
 なあ～に？

～いまみんなの身のまわりでできること～

へいせい ねん
 平成20年

7/19 土 – 9/7 日



企画展開催中は、
 小・中学生は



入館
 無料



協力 本田技研工業(株)埼玉製作所
 埼玉県立狭山工業高等学校

たくさんのイベントを予定しております。くわしくは広報、HPまたはお問い合わせください。

ご利用案内

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 休館日 毎週月曜日(7月21日を除く)、7月22日
 入館料 一般150円 高校生・大学生100円

交通案内

西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分
 西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅」終点徒歩3分
 圏央道狭山日高インターより車で15分
 ※ご来館は、電車・バスが便利です。

狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1 狭山稲荷山公園内
 TEL 04-2955-3804 FAX 04-2955-3811
<http://www.city.sayama.saitama.jp/museum/>

環境にやさしい材料を使っています。

かいさい 開催にあたって

高くそびえる山、遠くながれる川、どこまでも続く海。そしてそれらを取り巻く様子は、おじいさんやおばあさん、おとうさんやおかあさん、そして、みなさんにいたるまで、かわらずにあってほしいと思うところです。しかし、長い年月や、その間の生活の変化により、みなさんを取り巻く様子も、日に日に、かわっていくことに気がつくでしょう。みなさんを取り巻く様子、それは、「環境」と呼ばれていますが、過去、現在そして未来に向けて、「環境」の大切さが叫ばれるようになって久しくたちます。

今回は、夏休み子ども向け企画展として、「環境」をとりあげます。「環境」って、漢字もむずかしいし、わかりにくいので、いやだなんて思うかもしれませんが、意外と身近なことであったり、こんなことなら、遊びながらもできてしまうということもあります。

夏休みは、みなさんが思う存分いっぱい遊べる絶好の機会です。その夏休みの中で、「これって「環境」のためになるのかな」ということがあれば、それを実行してみて、ほかの人とは違った、おもしろい思い出を作ってみてほしいと思います。

平成20年7月

さやましりつはくぶつかん
狭山市立博物館

関連事業

たくさんのイベントを予定しております。

くわしくは広報、HPまたはお問い合わせください。

①「親子ふれあい教室」ペットボトル糸車製作教室

ペットボトルを使った糸車を製作し、遊びます。

日 時	7月30日(水) 午後1時～午後3時
場 所	博物館 研修・講義室
対 象	小学生3年生までの親子
募集人数	20組
講 師	狭山工業高校教員・生徒
参加費	無料
持ち物	特になし
申し込み	7月18日(金) 午前9時より電話にて予約。

③「親子ふれあい教室」ソーラーカー製作教室

ペットボトルを使ったソーラーカー模型を製作します。

日 時	8月7日(木)、8月9日(土) 各午後1時～午後3時
場 所	博物館 研修・講義室
対 象	小学生までの親子
募集人数	各20組
講 師	狭山工業高校教員・生徒
参加費	無料
持ち物	特になし
申し込み	7月24日(木) 午前9時より電話にて予約。

②ダンボールクラフト製作教室「ミニASIMO」をつくろう！

ダンボールでできた「ミニASIMO」をつくります。

日 時	8月6日(水)、8月13日(水) 各午前9時30分～午後1時30分～
場 所	博物館 研修・講義室
対 象	小学生
募集人数	6日各25名、13日各30名
講 師	本田技研工業(株) 社会活動推進センター職員、博物館実習生
参加費	無料
持ち物	特になし
申し込み	7月23日(水) 午前9時より電話にて予約。

④操縦体験！ミニソーラーカー

太陽エネルギーで走る、自然にやさしい乗り物を試乗します。

日 時	8月10日(日)、8月13日(水) 各午前10時30分～午後1時30分～(雨天中止)
場 所	博物館 レストラン前
協 力	狭山工業高校
対 象	小学生以下
参加費	無料

⑤第2回ロボプリント狭山市立博物館大会2008

自立型移動ロボットをいかに速く走らせるかを競う競技会です。

日 時	8月29日(金)、午後1時～午後3時30分準備・試走会 30日(土)、午前10時～午前12時 予選(フリー走行) 午後1時～午後3時30分決勝(トーナメント)
場 所	博物館 舞い舞いホール

さやましりつはくぶつかん 狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1 狭山稲荷山公園内
TEL 04-2955-3804 FAX 04-2955-3811
http://www.city.sayama.saitama.jp/museum/

ご利用案内

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 毎週月曜日(7月21日を除く)、7月22日
入館料 一般150円 高校生・大学生100円

交通案内

西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分
西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅行」終点徒歩3分
圏央道狭山日高インターより車で15分
※ご来館は、電車・バスが便利です。



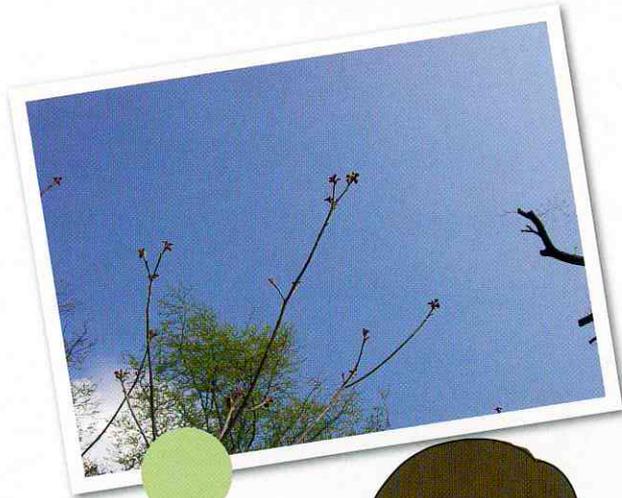
かん きょう なつやす こども きかくてん
夏休み 企画展

「環境」ってなあ〜に?

〜^{いま}みんなの^み身のまわりでできること〜

へいせい ねん
平成20年

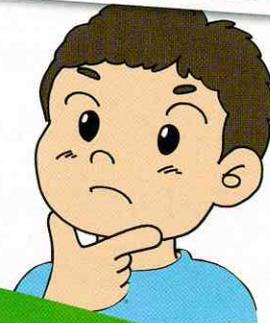
7/19 **土** - 9/7 **日**



企画展開催中は、
小・中学生は



**入館
無料**



協力 本田技研工業(株)埼玉製作所
埼玉県立狭山工業高等学校

たくさんのイベントを予定しております。くわしくは広報、HPまたはお問い合わせください。

ご利用案内

開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 毎週月曜日(7月21日を除く)、7月22日
入館料 一般150円 高校生・大学生100円

交通案内

西武池袋線「稲荷山公園駅」より徒歩3分
西武新宿線「狭山市駅」西口よりバス「稲荷山公園駅」終点徒歩3分
圏央道狭山日高インターより車で15分
※ご来館は、電車・バスが便利です。

狭山市立博物館

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1 狭山稲荷山公園内
TEL 04-2955-3804 FAX 04-2955-3811
<http://www.city.sayama.saitama.jp/museum/>
環境にやさしい材料を使っています。

かいさい

開催にあたって お子さんたちへ

高くそびえる山、遠くながれる川、どこまでも続く海。そしてそれらを取り巻く様子は、おじいさんやおばあさん、おとうさんやおかあさん、そして、みなさんにいたるまで、かわらずにあってほしいと思うところ
です。しかし、長い年月や、その間の生活の変化により、みなさんを取り巻く様子も、日に日に、かわって
いくことに気がつくでしょう。みなさんを取り巻く様子、それは、「環境」と呼ばれていますが、過去、
現在そして未来に向けて、「環境」の大切さが叫ばれるようになって久しくたちます。

今回は、夏休み子ども向け企画展として、「環境」をとりあげます。「環境」って、漢字もむずかしい、
わかりにくいので、いやだなんて思うかもしれませんが、意外と身近なことであったり、こんなことなら、
遊びながらもできてしまうということもあります。

夏休みは、みなさんが思う存分いっぱい遊べる絶好の機会です。その夏休みの中で、「これって
「環境」のためになるのかな」ということがあれば、それを実行してみて、ほかの人とは違った、おもしろい
思い出を作ってみてほしいと思います。

かいさい

開催にあたって おとな かがた 大人の方々へ

今回は、夏休み子ども向け企画展として、「環境」をとりあげます。「環境」については、いろいろな
分野、さまざまな角度から考えることができることから、お子さんたちには、「むずかしい」「とっつき
にくい」と考えられがちではありますが、お子さんたちの身近なところから、課題を掘り下げて理解して
いただければと考えております。お子さんたちの自由な発想での提案なども随時展示する予定ですので、
あたたかい目で見守っていただけたらと思います。激動の20世紀が終わり、21世紀も、はや10
年を数えようとしている今、内外メディアでは、地域生活のみならず宇宙規模で、「環境」について論
ぜられているところです。大人の方々には、新しい時代に生まれたお子さんたちといっしょに、改めて
「環境」について考える好機となれば幸いと存じます。

最後になりましたが、本企画展の開催にあたり、資料提供のほか、展示にご協力いただきました
関係各位に厚くお礼申し上げ、開催のあいさつといたします。

平成20年7月

さやましりつはくぶつかん
狭山市立博物館

はじめに (稲荷山公園駅から博物館までにある環境)

環境とは、「ひとつのもの」を取り巻くまわりのもののことをいいます。ここでいう「ひとつのもの」とは、たとえば「わたし」であったり、「家族」であったり、「博物館」であったりして、それぞれ「わたし」を取り巻く環境、「家族」を取り巻く環境、「博物館」を取り巻く環境、といったとらえ方をします。

また、環境とは、いろいろな意味で「良い」と「悪い」に分けられます。そこでは、「良い環境」とか「環境に良いもの」、「悪い環境」とか「環境に悪いもの」というとらえ方をします。

ここでは、「みなさん」を取り巻く身近な環境について、いっしょに考えていきたいと思います。たとえば、「博物館」を取り巻く身近な環境。みなさんは、今日博物館に来ていますが、博物館まで来るあいだにある環境について考えてみてください。ここでは、稲荷山公園の駅から博物館までにある環境を考えてみます。駅から博物館まで歩いてみると、いろいろなものが目につきます。それぞれのものは、博物館まで歩いている「みなさん」を取り巻く環境ですが、それぞれが「環境に良いもの」であったり、「環境に悪いもの」であったりします。それが「みなさん」の歩いている間、あるいは一日昼夜のあいだ、あるいは一年春夏秋冬の間、というように見ていくと、「環境に良いもの」であったものが、「環境に

悪いもの」になったり、「環境に悪いもの」であったものが、「環境に良いもの」になったりすることがあります。

まずは、博物館まで来る間にあった、みなさんで気がついた「環境」が、どのような「顔」をしていたのか、考えていただければ、と思います。



通勤通学……急がないと



線路沿いの自転車置場……どこからくるの？

ひろ う ちゅう み かんきょう 広い宇宙から見た環境(今、『宇宙船地球号』は…)

環境については、昭和40年代に科学技術の発達と高度経済成長の中で、みなさんの生活環境にかかわる被害として、「公害」という言葉が生まれました。現在の法律(「環境基本法」)では、空気くうきの汚れ(大気汚染)・川などの水の汚れ(水質汚染)・土の汚れ(土壌汚染)・うるさい音(騒音)・気になる揺れ(振動)・地面が沈む(地盤沈下)・くさい臭い(悪臭)を公害の種類としてあげています(典型七公害)。一方、環境にかかわる被害は、みなさんの生活のみならず、隣の国、さらには、地球全体の環境にも影響を与えるようになりました。みなさんの「身近な」環境から、地球規模の環境、宇宙規模の環境などと、幅広い目線で環境を見ていく必要が生まれてきました。

たとえば、地球規模でいえば、砂漠が増えて乾燥する砂漠化や、水や土、植物などに悪い影響を与える酸性雨などが、宇宙規模でいえば、地球温暖化などが「環境に悪いもの」としてあげることができます。

これらの「環境に悪いもの」も細かく見ていくと、みなさんの「身近な」環境から生まれているものも少なくありません。「良い環境」とか「環境に良いもの」は守っていく必要があり、「悪い環境」とか「環境に悪いもの」は良くしていく必要がある理由がそこにあるわけです。



はるさく 春咲くさくら…でも季節が変わると?

みんなが住んでいるところの「環境」^{かんきょう} (狭山市環境基本計画)^{さやましかんきょうきほんけいかく}

宇宙規模・地球規模の「環境」から、みなさんが住んでいるところの「環境」について見てみましょう。狭山市では、環境先進都市を目指して、平成10年度より

「狭山市環境基本計画」を立てて、目標を持った環境保全をつづけています。「狭山市環境基本計画」では、「みどりを友とし地球にやさしい都市・さやま」を合言葉に、環境の範囲(自然環境・生活環境・地球環境)やそれを支える市・市民・事業者・市民団体の役割を明確にして、環境保全をわかりやすく実行できるよう、考え出されたものです。現在平成15年度計画が



リサイクル都市・狭山のマーク

進められているところですが、特に10年度計画から15年度計画にあたっては、時代の変化にいち早くこたえることと、市民やみなさんひとりひとりでできることを目標に、①省資源・省エネルギー型社会から循環型社会へ、②環境チェック制度導入の推進から住みよいまちづくりへ、③地域環境の視野から地球環境への視野へ、④法整備から、実施可能な環境行政へ、と見直されてきています。

狭山市以外でも同じような取り組みがなされていると思います。みなさんが住んでいるところでは、どのようなことがなされているでしょうか。



ゴミ集積場 (カラスよけの網がかけてあります)

身近でやってる環境保全(みんなのまわりで「環境」のためにやっていること)

みなさんが住んでいるところには、いろいろな商店や工場があり、商品を売ったり品物を作ったりしている一方で、さまざまな「環境」についての活動をしています。

狭山市では、平成11年7月より環境への負担を軽くする目的から、「環境にやさしい店・事業所」を認定しています。これらの店・事業所では、空きかん、牛乳パックなどリサイクル可能な容器などを店頭回収したり、環境にやさしい商品を扱ったり、という活動をしています。

大きな会社では、「環境」についての会社の考え方をホームページに掲載しています。特に自動車の分野では、埋蔵量に限界があるといわれている石油資源の代わりとして、燃料にガソリンを使わない自動車を作っています。狭山市内でも、その開発、生産に加え、利用、普及がなされています。

最近では、「環境」への負担を軽くするしくみの国際基準であるISO14001や、優れた品質を維持していくしくみの国際基準であるISO9001の認証を受けている事業所も増えてきています。

また「環境」への取り組みとして、自然環境の保全があります。狭山市には、入間川のほかにも数本の川があり、土地は田・畑に利用され、武蔵野の雑木林が点在しています。田・畑の境にある崖に広がる斜面林では、下に清水がわき、農家のまわりをかこむ屋敷林や入会の雑木林は、平地林と呼ばれ、ひとつひとつの生活と深くかかわっています。最近ではこのような平地林を「里山」と呼び、循環型環境保全のモデルとして注目されています。狭山市でも水野・堀兼地区に広がる新田開発

地域や、柏原地区の入会地であった智光山公園などは「里山」を管理した例としてみるすることができます。特に自然環境の保全では、NPO（非営利団体）の活動を抜きには語れません。NPOでは、社会貢献活動の中に環境の保全を目的として活動している団体が多く見られます。狭山市内でもいくつかの団体が活動しています。



み ち か かんきょう ほ ぜん 身近でできる環境保全 (みんなが「環境」のためにできること)

では、みなさんが身近で「環境」のためにできることってなんでしょうか。ここでは、その中のいくつかを紹介します。

まずひとつには、「いらないものを再利用」することです。みなさんの周りには、いろいろと代用できるものがあります。たとえば、新聞広告で印刷されていない裏側を使った「メモ用紙」、送られてきた封筒を使った「小物入れ」など、む



ペットボトル

かしから行われていた方法も、「環境」のためにできることの一例です。

また、同じいらないものでも「形を変えて再利用」するということも大切です。たとえば、生ゴミを集めて堆肥にしたり、飼料にしたりすることはかなり広まってきています。ものによっては、業者によって再利用されるものもあります。店頭などにて回収されている紙類、空きびんなどは、再利用されている代表的なものです。特に空きかん(スチール、アルミ)は、再生する経費も少なく、再利用することができます。同じ代用でも牛乳パック、ペットボトルなどは、材料として形を変えて利用することができます。

「環境」のために大切なことは、「もったいない」と思うことです。みなさんの周りには、おかねを出せばいろいろなものが手に入りますが、ここに挙げたもののように、みなさんの家において代用できるものや、業者によって再利用できるものがあります。しかし、ものによっては、もとになる材料(資源)から作るより、再利用した方が経費もかからず、資源のむだづかいにならないといえるでしょう。このことが、「環境」に

やさしい活動に結びついていくことになります。

ここで提案したものは、身近で「環境」のためにできることの一部です。みなさんがほかに気がついたことがあったら、おうちのひと、まわりのひとなどに話をしてみましょう。



空きかん (スチールのリサイクルマークが見えます)

どっちがどっち？ (今「環境」のために必要なこと)

ここまでは、「環境」のために身近でやっていることと、身近でできることを見てきました。ここでは、今「環境」のために、何が必要なのかを考えてみましょう。

今から数年前、「環境」のために、何が必要なのかということで、「雑木林の中の木、どうして切るの？」という質問がありました。江戸時代から続く生活習慣に対して、自然を守るという「環境」保護の見方からすると、大事な質問だったと思います。しかしその理由は、雑木林の中の古い木、または枯れかかっている木を切り、根を残すことで、まだ元気のある木は、また芽が生えてくる。もし木が枯れてしまっても、そこは平らな地面になり、木から落ちた種や実が芽生えやすくなる、ということで、雑木林を生き活きとさせることがわかってきました。この質問には、「環境」保護に対して無知な江戸時代からの生活習慣を正す、という意味が込められていたが、「雑木林の中の木を切ること」は、江戸時代から続く生活の「知恵」であり、雑木林という、生活の上で大事な身近な「環境」のためにやってきたこととして、現在では、このような質問が出ることはなくなりました。

「環境」は、いろいろな見方ができますが、さまざまな「顔」を持っていますし、まだまだ表に出てない「顔」も持っていると思います。みなさんの思いついたことが、明日の「環境」の世界を先どりしてしまうかもしれません。

むすび (みなさんひとりひとりができることは)

さて、「環境」について、話をしてきましたが、いかがだったでしょうか。「環境」のためによいことは、いろいろな話の中で、聞いたことがあったり、見たことがあったりしたものもあったかと思いますが、意外と、みなさんだれでもが知っていることかもしれません。でも、なかなか実行できないのはなぜでしょう。

一口に「環境」といっても、「ひとつのもの」を取り巻くまわりのものは、いろいろなものがあるので、その範囲は無限にひろがってしまいます。また、「環境」に良いといっても、あれやこれやと考えていくと、混乱を招き、どれが「環境」に良いのかすらも、判断に困ってしまうことがあります。家庭から出るゴミの種類、あるいは飲み物の容器を空きかんやペットボトルに分けることなどは、ふだんの生活の中で簡単にできる「環境」に良いことの一例です。他にも「みなさん」で今すぐできることはいろいろあると思います。今思いついたことは、まずは「はじめの一步」ということで、実行にうつしていただけたらと思います。そのことが現在叫ばれている「環境」に対して、未来に向けての財産となり、「みなさん」がこの夏休みからはじめたことが、思い出として後世に語りつがれ、将来の「お子さん」たちにも同じような夏休みの思い出を作してほしいと思います。